



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1129		
科目名	文化人類学 1		
担当教員	清水 享		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1316	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 市民的素養・市民的教養 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A 日本の精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP4-I 理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚(30%) A2 異文化適応(30%) D1 市民的素養と参加(30%) I1 理解・分析と説明(10%)		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	文化人類学は人類が創り出した様々な社会や文化を研究対象とします。本講義では文化人類学の視点がいかなるものであるかを学びます。文化人類学はフィールドワークなどの実践的かつ実証的な方法によって築き上げられた学問の歴史であったことを考察します。文化人類学の視点は多様化する国際社会の状況や、異文化間で起こりうる様々な摩擦などの問題について、的確に認識し、かつ分析する視点を提供します。本講義は世界中の様々な社会や文化を理解するための基礎的な知識と理解を得ることができます。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためディスタンスラーニングを一部取り入れる場合があります ■キーワード 進化主義・機能主義・フィールドワーク・構造主義		
授業の趣旨	■副題 文化人類学がいかなる学問であるか学び、フィールドワークによって人間の文化や社会を捉えようとした理論を考えます。文化人類学の学問分野の範囲について考え、近隣諸科学との相違点、相似点を知ることができる。 ■授業の目的 文化人類学を学ぶことにより、相対主義的な視点でさまざまな事象を見ることができるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 近代学問以前の文化人類学的な視点を振り返り、近代学問として形成された文化人類学の理論		

	である「進化主義」、「伝播主義」など古典的な理論を学びます。またそれらを批判する「機能主義」の思想を考察し、この「機能主義」が文化人類学の学問的根幹であるフィールドワークと密接に関わっていることも体得します。そしてその後の「構造主義」の理論や方法論の歴史的経過と多様性を学び、その知識を体得していきます。																
総合到達目標	■文化人類学の視点からグローバル感覚や異文化適応と市民的素養を身につけ、それらを的確に理解・分析し、説明できるようになる。 ・文化人類学という学問とその周辺科学の枠組みと研究史を理解できるようになる。(第1～2回) ・文化人類学の視点について進化主義から現在までの流れを理解できるようになる。(第3～13回) ・文化人類学の考え方が多様化する国際社会の状況や異文化間で起こりうるさまざまな摩擦などの問題について、的確に認識かつ分析する視点を得られるようになる。(第14～15回)																
成績評価方法	■発言・質問・意見交換等の授業参加度 毎回(20%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)授業のテーマを踏まえ、論理的かつ明確に意見を述べることを評価します。 (フィードバックの方法)授業時間中に講評・解説をします。 ■リアクションペーパーの提出 5回(20%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)授業のテーマを踏まえ、論理的かつ明確に意見をまとめ、記述することができかを評価します。 (フィードバックの方法)提出後、次の授業で講評・解説をします。 ■レポート 1回(60%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・I1 (評価の観点)レポートにおいて、明確に論点をまとめ、その視座・知識・理解・分析を記述できかを評価します。 (フィードバックの方法)レポート提出後、レポートの講評・解説をします。																
履修条件	特にありません。																
履修上の注意点	文化人類学を学ぶことの意義を自身で考えつつ、授業に臨んで下さい。																
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>①授業テーマ：文化人類学とその近隣科学 ②授業概要：文化人類学の学問分野とその周辺科学である社会学、民俗学などとの違いを学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：文化人類学、社会学、民俗学といった用語を予め調べる。④復習(120分)：文化人類学とその周辺科学の概念を整理する。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>①授業テーマ：文化人類学以前 ②授業概要：近代学問以前の文化人類学的視点から見た著作などを考え、近代以前の文化人類学的視点を理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：『史記』や『ヒストリエ』について調べる。④復習(120分)：近代学問以前の文化人類学以前の視点の著作の内容を整理する。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>①授業テーマ：進化主義 ②授業概要：進化主義的視点からの文化人類学について学び、それを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：フレイザー、タイラー、モルガンなどの業績について調べる。④復習(120分)：進化主義的視点からの文化人類学について整理する。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>①授業テーマ：伝播主義とフランス社会学 ②授業概要：伝播主義の考え方とフランス社会学の祖デュルケームの研究について考え、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：伝播主義のシュミットの考え方、フランス社会学のデュルケームの考え方を調べる。④復習(120分)：伝播主義の考え方、デュルケームの考え方を整理する。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク1 ②授業概要：マリノフスキーのフィールドワークから機能主義の理論を学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：マリノフスキーの業績を調べる。④復習(120分)：マリノフスキーのフィールドワークと機能主義の理論について整理する。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク2 ②授業概要：ラドクリフ＝ブラウンとマリノフスキーの機能主義の違いを学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：ラドクリフ＝ブラウンの業績を調べる。④復習(120分)：ラドクリフ＝ブラウンとマリノフスキーの機能主義の相違点、相似点を整理する。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク3 ②授業概要：現代文化人類学の基礎であるフィールドワークについて学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理</td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ：文化人類学とその近隣科学 ②授業概要：文化人類学の学問分野とその周辺科学である社会学、民俗学などとの違いを学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：文化人類学、社会学、民俗学といった用語を予め調べる。④復習(120分)：文化人類学とその周辺科学の概念を整理する。	2	①授業テーマ：文化人類学以前 ②授業概要：近代学問以前の文化人類学的視点から見た著作などを考え、近代以前の文化人類学的視点を理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：『史記』や『ヒストリエ』について調べる。④復習(120分)：近代学問以前の文化人類学以前の視点の著作の内容を整理する。	3	①授業テーマ：進化主義 ②授業概要：進化主義的視点からの文化人類学について学び、それを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：フレイザー、タイラー、モルガンなどの業績について調べる。④復習(120分)：進化主義的視点からの文化人類学について整理する。	4	①授業テーマ：伝播主義とフランス社会学 ②授業概要：伝播主義の考え方とフランス社会学の祖デュルケームの研究について考え、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：伝播主義のシュミットの考え方、フランス社会学のデュルケームの考え方を調べる。④復習(120分)：伝播主義の考え方、デュルケームの考え方を整理する。	5	①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク1 ②授業概要：マリノフスキーのフィールドワークから機能主義の理論を学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：マリノフスキーの業績を調べる。④復習(120分)：マリノフスキーのフィールドワークと機能主義の理論について整理する。	6	①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク2 ②授業概要：ラドクリフ＝ブラウンとマリノフスキーの機能主義の違いを学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：ラドクリフ＝ブラウンの業績を調べる。④復習(120分)：ラドクリフ＝ブラウンとマリノフスキーの機能主義の相違点、相似点を整理する。	7	①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク3 ②授業概要：現代文化人類学の基礎であるフィールドワークについて学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理
回	内容																
1	①授業テーマ：文化人類学とその近隣科学 ②授業概要：文化人類学の学問分野とその周辺科学である社会学、民俗学などとの違いを学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：文化人類学、社会学、民俗学といった用語を予め調べる。④復習(120分)：文化人類学とその周辺科学の概念を整理する。																
2	①授業テーマ：文化人類学以前 ②授業概要：近代学問以前の文化人類学的視点から見た著作などを考え、近代以前の文化人類学的視点を理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：『史記』や『ヒストリエ』について調べる。④復習(120分)：近代学問以前の文化人類学以前の視点の著作の内容を整理する。																
3	①授業テーマ：進化主義 ②授業概要：進化主義的視点からの文化人類学について学び、それを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：フレイザー、タイラー、モルガンなどの業績について調べる。④復習(120分)：進化主義的視点からの文化人類学について整理する。																
4	①授業テーマ：伝播主義とフランス社会学 ②授業概要：伝播主義の考え方とフランス社会学の祖デュルケームの研究について考え、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：伝播主義のシュミットの考え方、フランス社会学のデュルケームの考え方を調べる。④復習(120分)：伝播主義の考え方、デュルケームの考え方を整理する。																
5	①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク1 ②授業概要：マリノフスキーのフィールドワークから機能主義の理論を学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：マリノフスキーの業績を調べる。④復習(120分)：マリノフスキーのフィールドワークと機能主義の理論について整理する。																
6	①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク2 ②授業概要：ラドクリフ＝ブラウンとマリノフスキーの機能主義の違いを学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分)：ラドクリフ＝ブラウンの業績を調べる。④復習(120分)：ラドクリフ＝ブラウンとマリノフスキーの機能主義の相違点、相似点を整理する。																
7	①授業テーマ：機能主義とフィールドワーク3 ②授業概要：現代文化人類学の基礎であるフィールドワークについて学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理																

	解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): フィールドワークの用語について調べる。④復習(120分): 文化人類学におけるフィールドワークの重要性について整理する。
8	①授業テーマ: 文化型の理論 ②授業概要: ルース=ベネディクトの考え方について学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): ルース=ベネディクトの業績について調べる。④復習(120分): 文化型の理論について整理する。
9	①授業テーマ: 構造主義1 ②授業概要: レヴィ=ストロースの親族組織論について学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): レヴィ=ストロースの業績について調べる。④復習(120分): レヴィ=ストロースの親族組織論について整理する。
10	①授業テーマ: 構造主義2 ②授業概要: レヴィ=ストロースの原始的分類論と神話論について学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): レヴィ=ストロースの原始的分類論と神話論について概要を調べる。④復習(120分): レヴィ=ストロースの原始的分類論と神話論について整理する。
11	①授業テーマ: 解釈人類学 ②授業概要: クリフォード=ギアツの解釈人類学について学び、これを理解できるようになる。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): クリフォード=ギアツの業績について調べる。④復習(120分): 解釈人類学の理論について整理する。
12	①授業テーマ: 生態人類学 ②授業概要: 生態人類学とはいかなる学問分野であるか学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): 生態学と生態人類学の違いを調べる。④復習(120分): 生態人類学がどのような学問であったか整理する。
13	①授業テーマ: 認識人類学 ②授業概要: 認識人類学とはいかなる学問であるか学び、これを理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): 認識人類学の概要を予め調べる。④復習(120分): 認識人類学がどのような学問であったか整理する。
14	①授業テーマ: 文化人類学の広がり ②授業概要: エスニシティ論や観光人類学などさまざまな文化人類学の理論を学び、これを理解できるようになる。理解・質問ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): 「エスニシティ」の用語や観光人類学などの概要を予め調べる。④復習(120分): エスニシティ論や観光人類学などさまざまな文化人類学の理論を整理する。
15	①授業テーマ: 文化人類学とは 授業内テスト ②授業概要: 文化人類学がいかなる学問かその概要をまとめることにより、文化人類学の視点を理解できるようになる。また前回授業の理解・質問ペーパーの講評と解説を聴き、これを理解する。(A1・A2・D1・I1) ③予習(120分): これまで学んだ文化人類学の理論の概要をまとめる。④復習(120分): 文化人類学の理論を整理する。
関連科目	文化人類学2(RMGT/SSCS1130)
教科書	指定しません。
参考書・参考URL	綾部恒雄ほか(1995)『文化人類学と人間』三五館、合田濤編(1989)『現代社会人類学』弘文堂、奥野克巳ほか(2011)『文化人類学のレッスン(増補版)』学陽書房、綾部恒雄編(1984)『文化人類学15の理論』。授業中に参考プリントを配布します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 水曜3時限。それ以外も研究室在室時に対応することもできます。
研究比率	



